

船橋 YMCA 通信

No. 122 2023年3月1日



編集 一般財団千葉YMCA船橋地域デポ 発行人 榎一光

〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内

電話：(047)425-6366 FAX：(043)222-5061



今回もチャリティーランはリモート開催

2021度の千葉YMCAインターナショナル・チャリティーは、昨年度と同じく千葉・とちぎ・ぐんまの3YMCA合同でリモート開催になりました。

今回は、「チームレース」(チーム参加)と「らくらくウォーク」(個人参加)の2種目がスマホ用歩数計アプリのRenoBodyを使った順位を競う競技で、オプション企画の「誰でもウォーキングチャレンジ」は自己申告で歩いた距離を申し出て、みんなで497.19km(よくなっていく)を達成することを目標にしています。

閉会式・表彰式は3月6日(日)に予定されていますので、本号では途中経過をお知らせします。

「チームレース」は5人で1万円を払って参加するもので、競技実施期間は2022年2月10日～18日の9日間でした。全体の参加チームは30チームで、千葉からは13チームが参加しました。この種目では、チームスポンサーがついてリーダー達で組んだ6チームが支援を受け参加しました。

「らくらくウォーク」は一人2千円を払って参加するもので、競技実施期間は2022年2月19日～28日の10日間でした。全体の参加者は32名で、千葉からは18名が参加しました。

「誰でもウォーキングチャレンジ」は一人500円を払って参加するもので、競技実施期間は2022年2月10日～28日の19日間でした。全体の参加者は182名で、千葉からは49名が参加しました。この種目でも、参加者が参加費を支払うことが難しい場合には、スポンサーが支援しました。



障がいのある子どもたちの笑顔のために YMCA

YMCAインターナショナル・チャリティーラン2021

千葉・とちぎ・ぐんまYMCAへバーチャリティーランへ



Virtual
real
Charity
RUN



今回は、スマホ用歩数計アプリ「RenoBody」を利用して開催します!

RenoBody

バーチャルだから、いつでも・できる!! みんなが、できた!!
あなたのレコード(記録)で、ぜひ参加してくださいね。

受付期間：2022年1月11日(火)～31日(月)
競技実施期間：個人参加2月10日(木)～18日(金) 9日間
チーム参加2月19日(土)～28日(月) 10日間
閉会式・表彰式：3月6日(日)13:00～ ※YouTubeライブ配信予定
オプション企画：「誰でもウォーキングチャレンジ」も同時開催

■全国協賛

National Sponsor Mitsubishi Corporation

■プライズスポンサー

Prize Sponsor キャセイパシフィック航空会社 デサントジャパン株式会社
マテル・インターナショナル株式会社

【主催】 一般財団法人千葉YMCA・公益財団法人とちぎYMCA・公益財団法人ぐんまYMCA
【共催】 ワイズメンズクラブ国際協会 日本区

公益財団法人日本YMCA同盟

【全国後援】 内閣府・厚生労働省・社会福祉法人全国社会福祉協議会・スポーツ庁
※各YMCAの後援については裏表紙をご覧ください。

※このパンフレットは、富士アイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社様のご支援で作成しております。

ご参加は
こちらから



YMCAピンクシャツデー 2022年2月23日(水)

今回は、競技期間中にピンクシャツデーがあり、ピンクのシャツやリボンをつけて参加した方々もいました。

ほっこり、にっこりわんぱくキャンプ

チャリティーランの益金を使って、船橋市内の障がいを持つ子どもたちを招待する「ほっこり、にっこりわんぱくキャンプ」が行われましたので、小林和弘キャンプディレクターの報告を掲載します。

《今回のパンフレットの表紙》

2022年1月15日(土)～1月16日(日)の期間で千葉市少年自然の家で第4回ほっこり、にっこりわんぱくキャンプを実施しました。本キャンプは昨年度実施された「千葉・とちぎ・ぐんまYMCA国際チャリティーラン」の益金で実施しております。

今年度は参加者19名と社会人・大学生ボランティア12名、職員2名の体制で1泊2日を過ごしました。2年ぶりの開催となる本キャンプを楽しみにしている子どもたちは多く、朝の集合時には久しぶりの再会を喜び合う様子がとても印象的でした。



《これからキャンプが始まるぞ!》

1日目は天候も良くポカポカとした陽気でした。みんなで鬼ごっこをして汗をかきながら走り、グループで協力して火を起し、美味しいスモアーズを作りました。夜は楽しみタイムでレクリエーションを楽しみました。なかなか興奮が冷めやらない子どもたちでしたが、はしゃぎ過ぎて疲れたのか夜はすぐに眠りについていました。



《うまく焼けるかな?》

2日目も暖かい冬晴れの1日です。荷物整理をしてお部屋の掃除をしたら、毎回恒例の「自由時間」です。YMCAのキャンプではグループ単位での活動が多くありますが、このキャンプでは子どもたちそれぞれの興味に合わせて、好きな場所で遊べる体制を整えています。体育館でサッカーをする子、芝生の上で鬼ごっこやだるまさんが転んだをやる子、施設内を探検する子、それぞれの子どもたちに



《自由に時間を過ごす参加者》

ボランティアリーダーが付いて一緒に行動をしました。2時間以上の時間を用意していましたが、あっという間に時間は過ぎていきました。昼食の後はグループ毎に振り返りをして、毎回恒例の表彰式です。このキャンプで色々な事に挑戦した子どもたち1人1人にスポットライトを当てて、全体の前で1人ずつ賞状と記念キーホルダーを渡す恒例行事です。この時の子どもたちの嬉しそうな表情はとても印象的でした。



《表彰式》

ほっこり、にっこりわんぱくキャンプの中では「楽しい時間」だけではなく、「嫌な気持ち・イライラした気持ち」も大切なキャンプの思い出として形に残っています。子どもたちが自分の気持ちを全てオープンに出来る環境を整え、私たちはその気持ちを受け止めています。ボランティアリーダーも同じです。そして必ず終わりの来る非日常だからこそ子どもたちは頑張れる事もあります。キャンプ解散の際にはキャンプで起こった「良い事」だけでなく「良くなかった事」も保護者には報告しますが、それも大切なキャンプの思い出です。

子どもたち・保護者・YMCAが信頼関係を築き、学校や放課後デイサービスなどとは違うサードプレイスとして子どもたちが伸び伸びと過ごせる環境、保護者様が安心して預けられる場所、相談できる場所として私たちは活動をしています。新型コロナウイルス感染症はまだまだ終息の兆しが見えませんが、その中でも子どもたちの成長は止まりません。

最後になりますが、多くの皆様の支援により本キャンプを毎年実施出来ます事、大変感謝しております。第4回を数えましたが、この先も多くの子どもたちの笑顔を迎えられますよう活動を続けてまいります。ご支援いただきありがとうございます。ありがとうございました。

編集後記

やっとYMCAの活動が少しではありますが出来るようになりました。新型コロナウイルス感染症の感染が収まり、今年のチャリティーランが船橋市運動公園でリアルに開催できることを願ってやみません。

(槇)